

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】特表 2002-512685 (P2002-512685A)

【公表日】平成 14 年 4 月 23 日 (2002.4.23)

【出願番号】特願 平 10-534532

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 33/566

A 6 1 K 31/165

A 6 1 K 31/17

A 6 1 K 31/655

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00

C 0 7 K 14/72

C 1 2 N 15/09

C 1 2 Q 1/48

C 1 2 Q 1/54

G 0 1 N 33/15

G 0 1 N 33/50

G 0 1 N 33/543

G 0 1 N 33/577

【F I】

G 0 1 N 33/566

A 6 1 K 31/165

A 6 1 K 31/17

A 6 1 K 31/655

A 6 1 K 45/00 Z C C

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 14/72

C 1 2 Q 1/48 Z

C 1 2 Q 1/54

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/543 5 7 5

G 0 1 N 33/577 A

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年 1月 6日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第534532号

2. 補正をする者

氏名(名称) テリック・インコーポレイテッド



3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書、請求の範囲および図面

5. 補正対象項目名 明細書、請求の範囲ならびに図4Aおよび図11

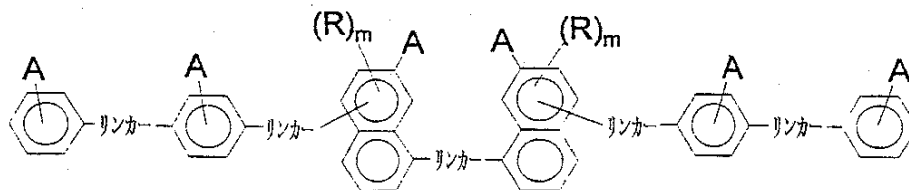


6. 補正の内容

(1) 明細書

i) 8頁1～2行および23頁下から10～11行、

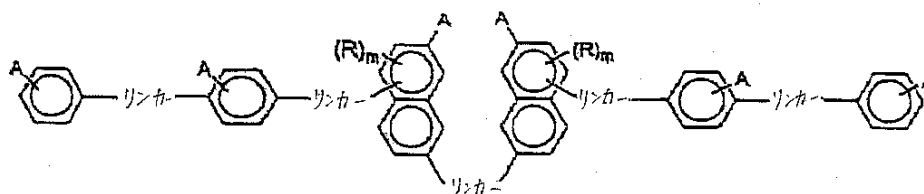
「



式 (2)

」を

「



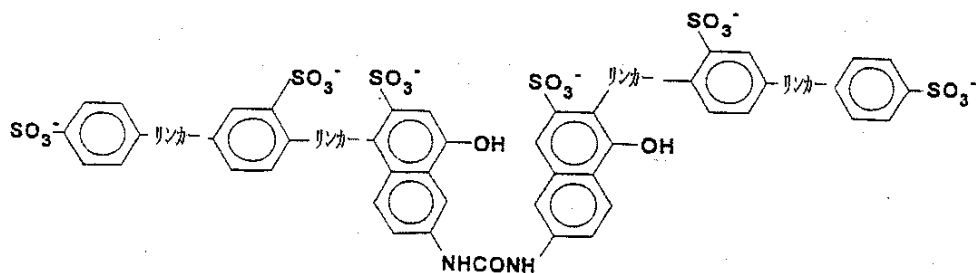
式 (2)

」

と補正する。

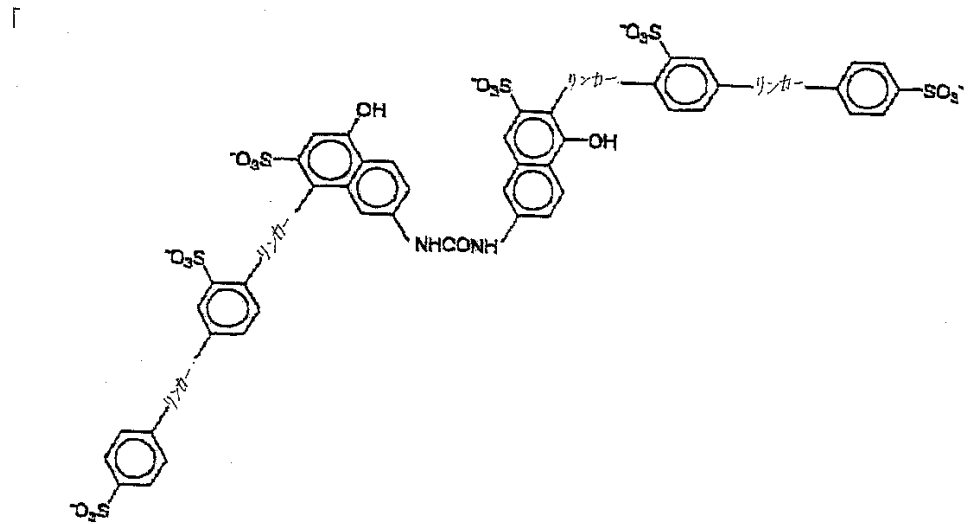
i i) 25頁6～7行、

「



(2B)

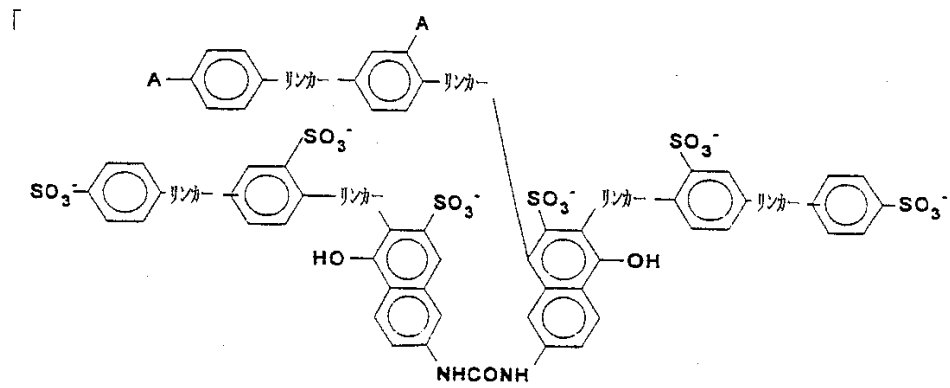
」を



(2 B)

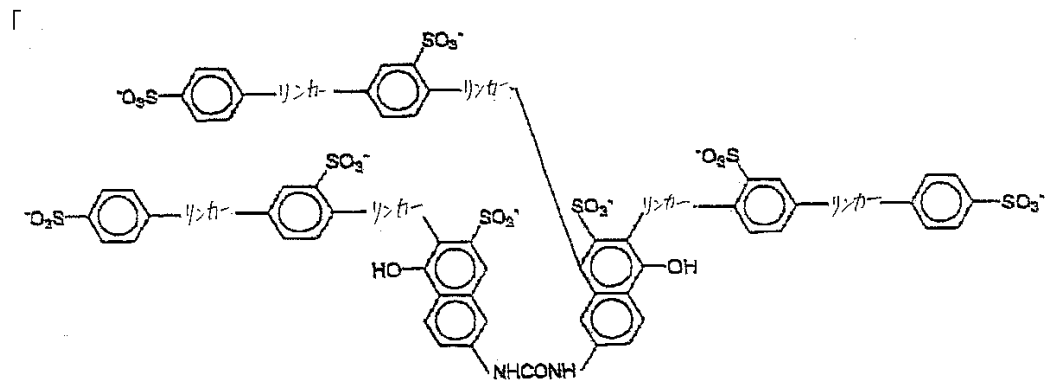
と補正する。

iii) 25頁下から2～3行、



(2 C)、例えばTER17005

」を



(2 C)、例えばTER17005

」

と補正する。

i v) 22頁下から9行、24頁7行および26頁下から5行、「炭化水素基」を「ヒドロカルビル基」と補正する。

v) 22頁5行および26頁下から14行、「 $\text{OP}(\text{OX})_2$ 」を「 $\text{OP}(\text{OX})_3$ 」と補正する。

vi) 26頁2～3行、「特に好ましいのは、TER16998であり、その化合物は本明細書の図8Aおよび図8Bに示されている。」を「特に好ましいのは、TER16998および本明細書の図8Aおよび図8Bに示されている化合物である。」と補正する。

(2) 請求の範囲

別紙の通り。

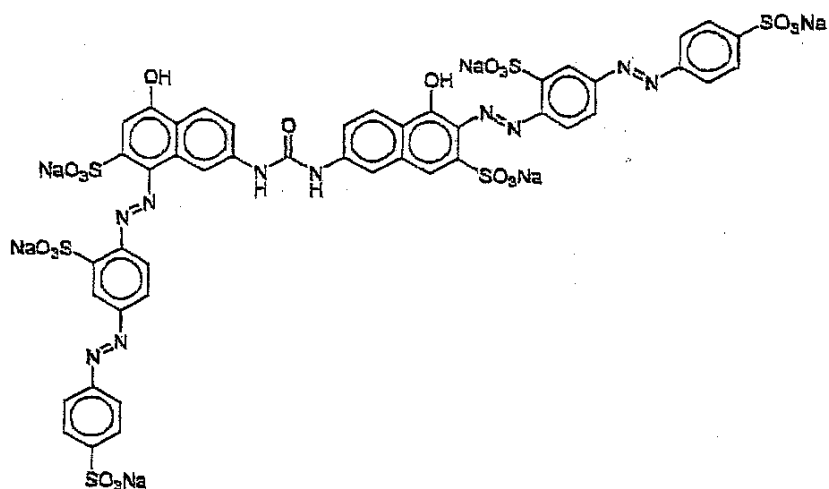
(3) 図面

図4Aおよび図11を別紙の通り補正する。

(別紙)

請 求 の 範 囲

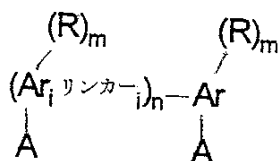
1. 式:



で示される化合物。

2. 治療有効量の請求項1に記載の化合物および少なくとも1種の医薬的に許容しうる賦形剤を含む医薬組成物。

3. 糖尿病患者における血中グルコースを低下させる医薬の製造における、式(1):



(1)

[式中、各Arは独立して、ベンゼン、ナフタレン、ピリジン、キノリンまたはベンゾチアゾールから選ばれる芳香族残基；

各Aは独立して、 $-SO_3X$ 、 $-OP(OX)_3$ および $-COOH$ (ここで、Xは水素原子またはカチオン)；

各Rは独立して、分枝または非分枝の環式、芳香族または非芳香族の置換また

は非置換ヒドロカルビル部分(ここで、非分枝ヒドロカルビル鎖は、1つまたはそれ以上のO、NまたはSで中断されてもよい)；または各Rは独立して、 $-OR'$ 、 $-NR'_2$ または $-SR'$ (ここで、 R' はHまたは前記のRと同意義)；

mは0、1または2；

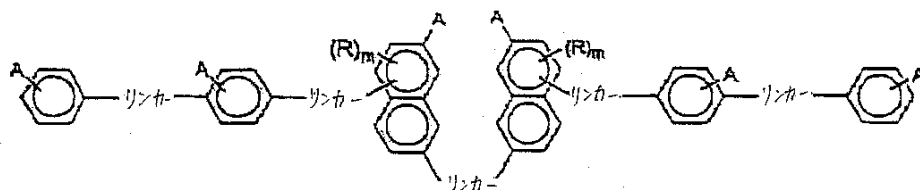
nは1、2、3、4、5または6；および

各リンカーは独立して、 $-CH_2-$ 、 $-N=N-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-NHC(=O)-$ または $-NHCONH-$ もしくはその等量式である；

ただし、nが1である場合、少なくとも1つのArが少なくとも2つの縮合芳香族環を含まねばならない]

で示される化合物の使用。

4. 式(1)の化合物が、式(2)：

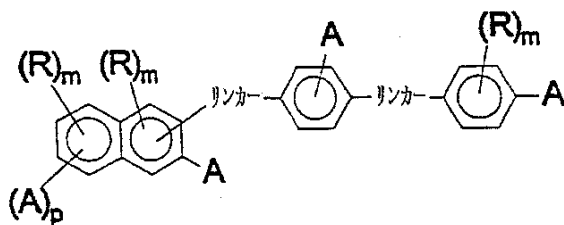


(2)

[式中、各A、R、mおよびリンカーは請求項3と同意義]

で示される化合物である請求項3に記載の使用。

5. 式(1)の化合物が、式(3)：



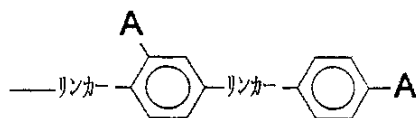
(3)

[式中、各A、R、mおよびリンカーは請求項3と同意義、およびpは0または1である]

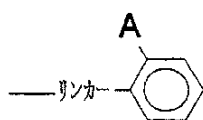
で示される化合物である請求項 3 に記載の使用。

6. m が 0 または 1 ; n が 4、5 または 6 ; および各リンカーが独立して、 $-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{NHCO}-$ またはその等量式である請求項 3 に記載の使用。

7. 各 R が独立して、 OH または



または



[式中、 A およびリンカーは請求項 3 と同意義]

である請求項 4 または 5 に記載の使用。

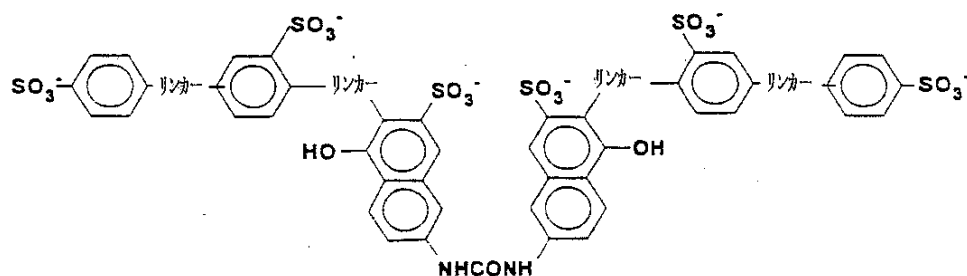
8. m が 0 または 1 および各 R が OH である請求項 4 または 5 に記載の使用。

9. 各 R が独立して、 C_{1-6} アルキルである請求項 3 または 6 に記載の使用。

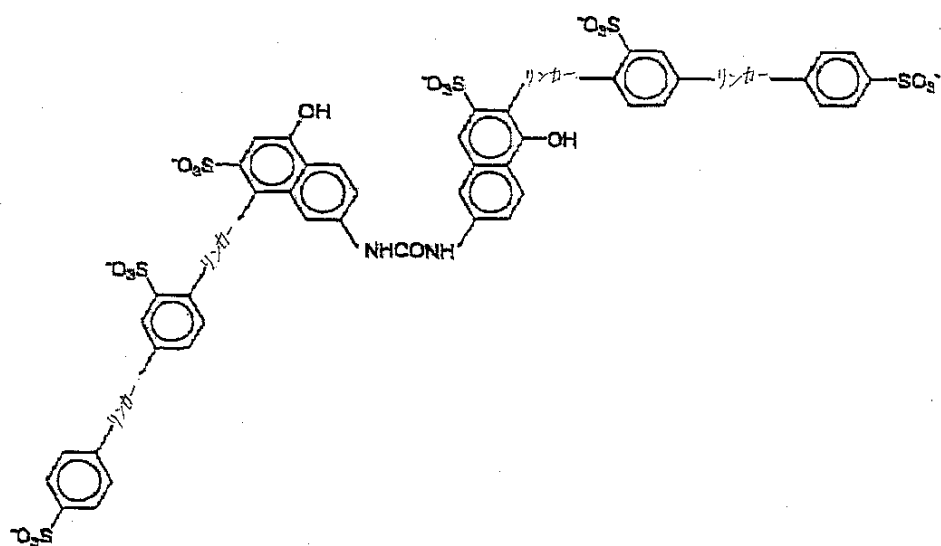
10. 各 A が独立して、 $-\text{SO}_3\text{X}$ または $-\text{COOX}$ (ここで、 X は水素原子またはカチオン) である請求項 3 ~ 9 のいずれかに記載の使用。

11. すべての m が 0 である請求項 3 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の使用。

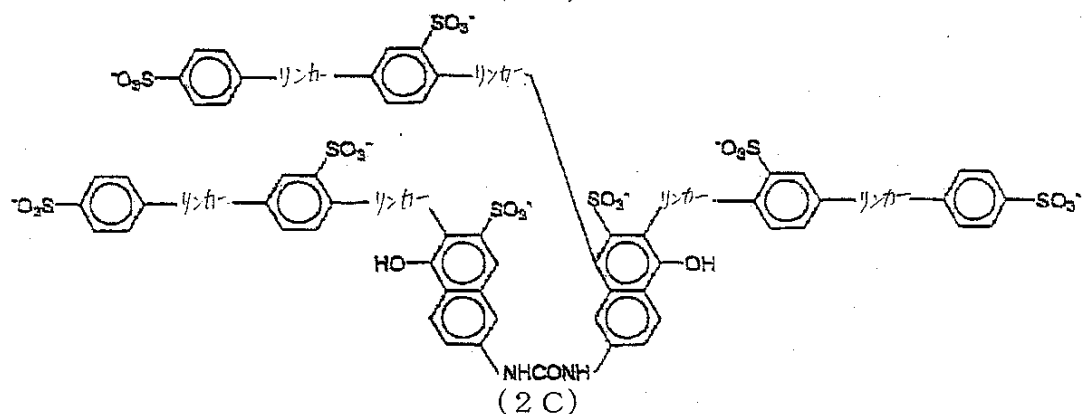
12. 式 (2) の化合物が、式 (2A)、式 (2B) または式 (2C) :



(2A)



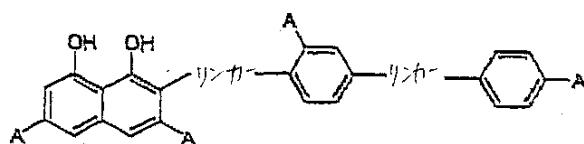
(2 B)



(2 C)

[式中、各リンカーは独立して、 $-N=N-$ または $-NHCO-$]
である請求項4に記載の使用。

13. 式(3)の化合物が、式：



[式中、各Aは独立して、 $-SO_3X$ または $-COOX$ (ここで、Xは水素原子
またはカチオン)；および各リンカーは独立して、 $-CH=CH-$ または $-NH$
 $CO-$ である]

である請求項5に記載の使用。

(別紙)

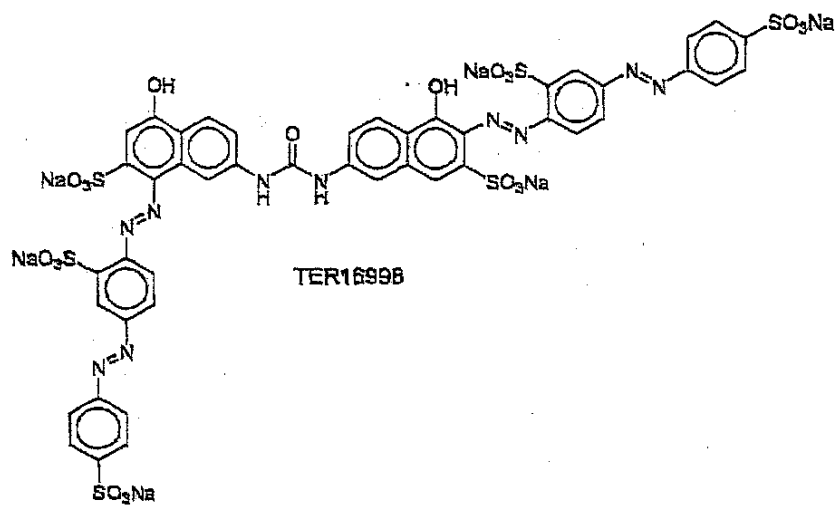


FIG. 4A

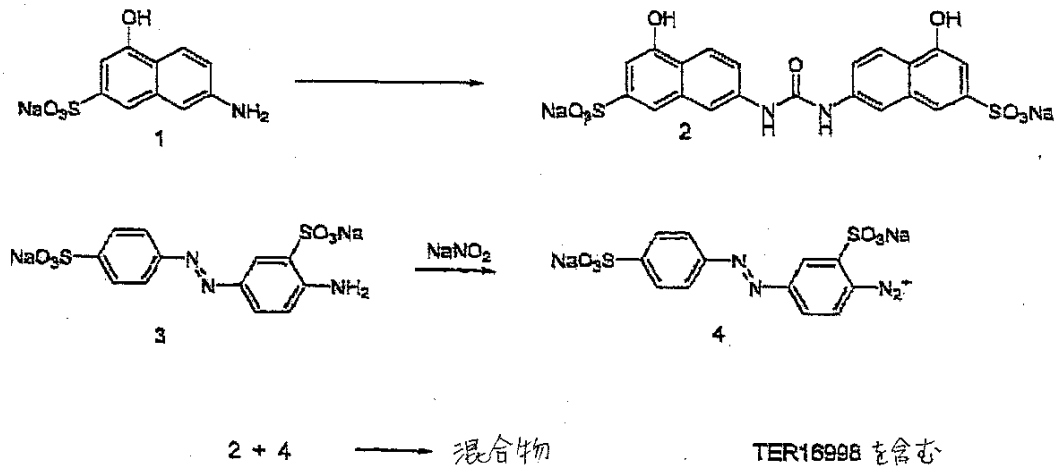


FIG. 11